

Let's have a dialogue!

ワークシートで学ぶ 保育所実習

相浦雅子 那須信樹 原孝成 編著

『保育実習指導のミニマムスタンダード Ver. 2』対応



はじめに

令和の時代に入り、保育所における社会的な役割への期待も一段と大きなものになってきています。そこで働く保育士には、乳幼児期を生きる子どもたちの発育や発達、一人ひとりの個性を踏まえつつ、専門的な知識や技術、幅広い教養のもとに生まれる総合的な判断力、専門職として求められる倫理観、そして何よりその豊かな人間性をもって日々の保育に当たるといった高度な専門性が求められています。

保育所では、まさに、こうした専門性を背景に、子どもたちの生き生きとした眼差し、躍動感あふれる動き、屈託もなく喜怒哀楽を表現する子どもの姿に呼応するかのようには、保育士もまた生き生きと、すべてを包み込むような柔らかな眼差しで子どもの育ちや学びを見つめ、その瞬間瞬間に関わり続けていらっしやいます。保育所には、保育所保育指針の内容等を踏まえつつ、専門職同士の対話や省察を繰り返し、より良い保育のありようを考え、模索し、実践し続けていらっしやる姿があります。もちろん保育士だけではなく、栄養士や看護師をはじめとする保育所の全職員が子どもの育ちや学びに寄り添い、ひとつのチームとして支え、その豊かな可能性を伸ばそうと奮闘されている姿があります。

さて、みなさんもいよいよ保育所での実習に出かける時が近づいてきました。各養成校においては、学生の定員数や実習時期の違い、さらには所在する地域的な特性などもあって実習を取り巻く環境・条件というものは一様ではありません。しかし、次代の保育を担うみなさんにとって、保育所での実習が実り多きものとなるように実習指導担当の先生方はもちろんのこと、さまざまな方々の力や思いがそこに注がれているということを忘れないでほしいと思います。何より、そのチャンスを与えてくださる保育所の保育士をはじめとする園長先生や職員の方々、そしてみなさんが出会うことになる“良き師”でもある多くの子どもたちに感謝しつつ、「振り返り」と「学び続ける姿勢」を意識しながら、主体的・対話的で深い学びにつながるような実習となるように取り組んでほしいと願っています。

なお、本書の発刊にあたっては、みなさんの保育士になるための歩みを支えながら、日々、保育士養成に対する熱き思いをもって教育・研究活動に邁進されている多くの養成校の先生方、さらには子どもたちのいま、そして未来をともに生きようと懸命に努力されている多くの保育実践の場の先生方に執筆の労を執っていただきました。この場を借りて心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

2020年2月

編著者を代表して 那須 信樹

Contents

目次

まえがき iv

Part 1 主体的・対話的で深い学びを得られる保育所実習にしていくために 1

Lesson 1 保育所に向かうあなたと先生へ 2

1. このテキストの特徴と活用法 2
 2. 「ワークシート」で語り合う・学び合う 3
 3. 「ラベル」で語り合う・学び合う 4
 4. 「Homework Sheet」で語り合う・学び合う 5
 5. 用語の説明 6
- サンプルシートⅠ 7
- サンプルシートⅡ 8

Part 2 保育所実習に臨む 9

Lesson 2 実習の意義・目的・内容について理解する 10

1. 保育所実習の概要
2. 保育士の定義について
3. 保育所実習の目的と内容

Lesson 3 実習園について理解する 14

1. 保育所の社会的役割
2. 保育施設の特性
3. 実習園の概要・特色を理解する

Lesson 4 関連法規や保育所保育指針の位置づけについて 18

1. 児童福祉法
2. 児童憲章
3. 保育所保育指針と保育所保育指針解説

Lesson 5 実習の段階と方法について理解する 20

1. 実習の段階
2. 実習の内容

Lesson 6 実習生としての心構えについて理解する 22

1. 実習前
2. 実習中
3. 実習後

Lesson 7	実習記録（日誌）の意義と方法について理解する	26
	1. 実習記録の意義	
	2. 保育士養成カリキュラムにおける実習記録の位置づけ	
	3. 実習記録（日誌）と関連した語句の整理	
	4. 実習日誌の実際	
Lesson 8	保育の計画及び評価について理解する	30
	指導実例 1 部分実習 午睡前「絵本の読み聞かせ」	
	指導実例 2 全日実習	
Lesson 9	自己課題と実習課題を明確にする	34
	1. 実習課題を明確にする意義	
	2. 実習課題の立て方	
	3. 実習課題の実際	
Lesson 10	実習に必要な事務手続きについて理解する	38
	1. 保育所実習の一連の流れについて	
	2. 各段階での手続き内容	
Lesson 11	実習園でのオリエンテーションについて	42
	1. 実習園でのオリエンテーションの意義と目的	
	2. オリエンテーションの一般的な流れと内容	
Special Lesson 1	実習前に「知る」を意識する	44
Check! 1		48
Part 3 Section 1	保育所実習 I に取り組む	49
Lesson 12	実習園の概要について学ぶ	50
	1. 要覧・パンフレット・オリエンテーションでの事前確認	
Lesson 13	デイリープログラムの実際について学ぶ	52
	1. デイリープログラム	
	2. 保育所の日	
	3. デイリープログラムの実際	
	4. 現代的な課題から見たデイリープログラムの意義	
Lesson 14	乳児の発達や生活の実際について学ぶ	54
	1. 乳児の発達	
	2. 乳児の生活	
Lesson 15	1歳以上3歳未満児の発達や生活の実際について学ぶ	58
	1. 1歳以上3歳未満の発達	
	2. 1歳以上3歳未満の生活	
Lesson 16	3歳以上児の発達や生活の実際について学ぶ	60
	1. 3歳の発達や生活	

2. 4歳の発達や生活	
3. 5歳の発達や生活	
4. 6歳の発達や生活	
Lesson 17 保育環境への配慮の実際について学ぶ (1) 屋外	62
1. 園の環境を規定する枠組み	
2. 園庭	
3. 安全管理と安心について	
Lesson 18 保育環境への配慮の実際について学ぶ (2) 屋内	66
1. 安全, 安心で健康的な環境づくり	
2. 暮らしやすい環境づくり	
3. 生き生きと活動できる環境づくり	
4. メディアを活かした環境づくり	
Lesson 19 保育技術の実際について学ぶ～指導実習：部分実習を通して～	70
1. 部分実習の内容	
2. 部分実習における保育技術の実践	
3. 部分実習の振り返り	
Lesson 20 家庭や地域社会との連携の実際について学ぶ	72
Lesson 21 子どもの最善の利益を追求する保育所の全体の取り組みについて学ぶ	74
1. 「子どもの最善の利益」とは	
2. 保育所における「子どもの最善の利益」とは	
3. 虐待防止と子どもの最善の利益	
Lesson 22 実習生の安全管理と衛生管理	76
1. 実習生の衛生管理・安全管理	
2. 安全管理	
3. 衛生管理	
Lesson 23 組織的に行われている保育の実際について学ぶ	78
1. 保育所という組織を束ねるもの	
2. 職員間の共通理解を促す	
Special Lesson 2 保育所実習で大事にしてほしいこと	80
Part 3 Section 2 保育所実習 I を振り返る	85
Lesson 24 保育所実習 I の内容について振り返る	86
1. 気持ちの振り返り	
2. 事実の振り返り	
3. 振り返りのワーク	
Lesson 25 保育所実習 I の評価結果について知る	88
1. 評価の客観性	

2. 評価の項目
3. 評価の読み取り方
4. 自己評価との比較

Lesson 26 保育所実習Ⅱに向けた実習課題を明確にする 90

1. 「保育所実習Ⅰ」からの課題 実習課題
2. 「保育所実習Ⅱ」に向けた課題 実習課題
3. 「保育所実習Ⅱ」に向けた課題 実習課題の設定

Special Lesson 3 多様な視点と気持ちの整理 93

Part 3 Section 3 保育所実習Ⅱに向けて 95

Lesson 27 保育技術の実際について学ぶ～指導実習：全日実習を通して～ 96

1. 全日実習の内容
2. 全日実習における一日の保育の計画と展開
3. 全日実習における中心となる活動の展開と保育技術
4. 全日実習の振り返り

Lesson 28 多様な保育ニーズの実態とその対応について学ぶ 100

1. 社会の変化と保育ニーズへの対応
2. 保育所における保育サービスに対するニーズ
3. 日常の保育ニーズに対する対応

Lesson 29 家庭（保護者）とのコミュニケーションの実際について学ぶ 104

1. 保育者と保護者との関係性を理解する
2. 保育所における保護者に対する支援の内容と関わり方
3. 保護者とのコミュニケーションで大切にしたいこと

Lesson 30 子育て家庭支援の実際とその対応について学ぶ 108

1. 保育所における保護者に対する支援の基本
2. 保育所に入所している子どもの保護者に対する支援内容と留意点
3. 地域の子育て家庭に対する支援内容と留意点

Lesson 31 他専門機関との連携の実際について学ぶ 110

1. 専門機関の種類と職種について
2. 巡回指導などの機会の利用について
3. 保育士の役割について
4. 保育所全体の連携について

Lesson 32 保育士に求められる倫理観について学ぶ 112

1. 倫理観って何だろう ～ちょっとわかりにくい言葉でしょうか～
2. 倫理綱領を見てみると… ～全国保育士会倫理綱領から～
3. 保育者は対人援助の専門職 ～ただの子ども好き！ではないのです～
4. 現場での活用として ～実はとてもシンプル～

Special Lesson 4 柔軟な視点と揺るがない支点を持ってー 115
Check! 2 117

Part 4 保育所実習Ⅱを振り返る 119

Lesson 33 保育実習Ⅱの内容について振り返る 120

Lesson 34 保育実習Ⅱの評価結果について知る 122

1. 評価の項目
2. 評価の読み取り方
3. 自己評価との比較

Lesson 35 保育実習Ⅰ・Ⅱを総括する 124

1. 「保育実習Ⅰ」と「保育実習Ⅱ」の評価
2. 今後の自己課題の明確化
3. 「自分の育ち」の確認と保育所実習の総括

Lesson 36 実習後の新たな学習課題を設定する 126

1. 振り返りを活かす
2. 新たな学習課題を設定する

Special Lesson 5 未来社会を育む子どもたち 128

Part 5 STEP BY STEP 133

Lesson 37 評価票のこと 134

1. 評価票の意義
2. 評価票様式の実際
3. 現場と養成校と学生をつなぐ評価票

Lesson 38 訪問指導のこと 136

1. 訪問指導の意義
2. 訪問指導の内容
3. 訪問指導時に使用する資料

Lesson 39 「もしも…」のときに備える 140

1. もしも、通勤途中で事故にあったら…
2. もしも、保育所内でけがをしたら…
3. もしも、保育所の備品を壊したら…
4. もしも、子どもにけがをさせてしまったら…
5. もしも、具合が悪くなったら…
6. もしも、実習施設の保護者から何か頼まれたら…
7. もしも、住所を聞かれたら…

Lesson 40 使い方に気をつけたい表現 142

1. 文書作成上の基本的な注意点・間違いやすい表現

2. 使い方に注意の必要な表現

Special Lesson 6 保育ってやっぱり楽しい！！ 145

巻末資料 147

- ◆巻末資料 1 ミニマムスタンダード実習指導計画 148
- ◆巻末資料 2 保育実習実施基準等 149
- ◆巻末資料 3 児童福祉法 第七節 保育士 151
- ◆巻末資料 4 保育所保育指針 152
- ◆巻末資料 5 全国保育士会倫理綱領 162
- ◆巻末資料 6 児童福祉施設の設備及び運営に関する基準 163

ワークシート例 165

- Homework Sheet Lesson 5 (Sample)
- Homework Sheet Lesson 8 (Sample)
- Homework Sheet Lesson 9 (Sample)
- Homework Sheet Lesson 10 (Sample)
- Homework Sheet Lesson 11 (Sample)
- Homework Sheet Lesson 16 (Sample)
- Homework Sheet Lesson 17 (Sample)
- Homework Sheet Lesson 19 (Sample)
- Homework Sheet Lesson 27 (Sample)
- Homework Sheet Lesson 31 (Sample)
- Homework Sheet Lesson 40 (Sample)
- サンプルシートⅠ (フォーマット)
- サンプルシートⅡ (フォーマット)

Part 1

主体的・対話的で深い学びを得られる 保育所実習にしていくために

Lesson 1	保育所実習に向かうあなたと先生へ	2
	1. このテキストの特徴と活用法	2
	2. 「ワークシート」で学び合う	3
	3. 「ラベル」で学び合う	4
	4. 「Homework Sheet」で学び合う	5
	5. 用語の説明	6
	サンプルシートⅠ	7
	サンプルシートⅡ	8



2回目以降の授業において、例えば、学生同士でこの Homework Sheet を交換し、10分程度の時間を用いて誤字脱字のチェックや意見交換などを相互に行うなどの取り組み方があります。もちろん2人から可能となる学習スタイルですが、5~6名を単位とする小グループ形式での学習のほうがより効果的です。

以下、Homework Sheet 活用のポイントを紹介します。

1) 準備 （巻末の「ワークシート例」参照）

巻末に「Homework Sheet」のサンプル様式を添付していますので、授業担当の先生の指示に従い必要に応じてコピーを準備してください。もちろん、Homework Sheet の様式は基本的に自由です。授業担当の先生と相談しながら、あなたの養成校だけのオリジナル様式を作成するのも良いでしょう。

2) 記入はすべてペン書きで

「Homework Sheet」への記入もペン書きが前提となります。ワークシートへの記入と同様に、あらかじめペン書きに慣れておく意味でも、すべてペン書きでチャレンジしてみてください。

3) 各項目記入上のポイント（8頁の「サンプルシートⅡ」をもとに）

① Homework Sheet のナンバー：授業担当の先生の指示により記入してください。

② 学籍番号・氏名：

自分の学籍（学生）番号と氏名を記入します。氏名の右端には、実習指導案などと同様に、提出者の印鑑を捺印したうえで提出します。

③ チェック担当者サイン：

先に述べたとおり、グループ内で相互に Homework Sheet を交換し、赤ペンなどで誤字脱字のチェックをしたり、当該課題への予習成果に対するコメントを記入したりする場合、該当者のサインを記入します。

④ 提出締切日と提出先：日誌や指導案同様に、提出締切日と提出先を確認します。

⑤ 課題内容：

授業終了時に、授業担当の先生から指示される課題内容を記入します。ある養成校の例では、「児童憲章」「全国保育士会倫理綱領」などに謳われている内容をそのまま転記するという課題もあるようです。機械的に転記するのではなく、考えながら転記することで、その内容や位置づけ、意義について再確認したり、各 Lesson に設けられた「ワーク」の内容に沿った形での事前学習内容が設定されたりするなど、内容は実にさまざまです。

5. 用語の説明

本書において用いられる用語についての説明は、基本的に「ミニマムスタンダード」（2005・2018）に準拠する形で行います。詳細については、巻末の資料にて確認してください。

サンプルシート I

①授業が実施された日付や曜日、天候や授業回数を記入します。

②自分の学籍(学生)番号と氏名を記入します。

③自分のクラス、あるいは受講者メンバーの人数を出席と欠席の別に記入します。

④授業に参加(参観)して下さったゲストの名前を記入します。

*該当する Lesson No. を記入します。

保育所実習指導ワークシート

授業実施日	10月29日月曜日	天候	晴	第3回目	出席者	51名
学籍番号	07C333	氏名	中村 裕美		欠席者	3名
					ゲスト	伊藤香織 保育士(03C)

⑤授業担当の先生の指示に従って、その当日に学ぶ授業内容と授業のねらいを記入します。

⑥授業担当の先生のレクチャー内容や板書された内容を記入していくスペースです。

⑦毎回の授業終了時に記入する感想ラベルです。毎回の授業で感じたり、考えたりした内容を記入し、メンバーと交換、学びを共有します。

⑧毎回の授業で自分にとって何が最も重要な学びであったのか⑥と⑦に記載した内容をふりかえりながら記入します。

※下の欄は、担当の先生の指示に従って記入してください。

主な授業内容と授業のねらい	Lesson No.
①前回授業のふり返り(課題相互チェック HW2)を通して、グループ内で各自の実習園のフワフェールを紹介し合いながら、保育所保育を理解していくための視点を共有する。 ②保育所実習事前指導の内容確認 ③実習園について理解する ④実習生としての心構えについて	(Lesson 1) (Lesson 2) (Lesson 5)
◆授業のポイント ●●●●保育園(早良区) 戸村 60人 1.心身ともに健康な子ども 2.思いやりがある子ども 3.ありがとうと言える子ども 4.ごめんなさいと言える子ども 5.思い切り遊べる子ども 延長保育 19時まで 障害児保育 自然いっぱいあふれるところ	●●●●保育園 中原 保育方針 1.家庭を大きくした保育園 2.小さな社会(集団)の保育園 3.応答を中心とした保育を行い、集中力のある子どもを育てる 4.子どもを主とした保育子ども 5.1時間(子どもの権利を保護する時間)基本的な生活の場、選択できる活動を大切にした保育を目指している
●●●●保育園 長里 理念 ・子どもたちに最高の喜びと幸せを ・子育てに夢と力 7:00~16:00 延 18:00~20:00	各園の保育理念、方針、方法 保育所保育指針 児童憲章、倫理綱領等 児童福祉法、児童福祉施設 最低設置基準 先生からの一言 実習日誌について... 考察の書き方をよく考える 自分自身の思いをしっかりと書く 子どもの笑顔も大切にしよう
●●●●市立●●●●保育所 中島 平日 7:30~19:00 1.自然の摂理に角触れ、環境教育を通して命の大切さを知り、探究心あふれる子どもを育てます。 2.水、砂、土、太陽のもとで体を使って遊ぶ子どもを育てます。 3.人の優しさを知り、人の中で生活することを喜ぶ子どもを育てます。	行事:対面式、運動会など15分程度の行事がある 育児相談 ●●●●保育園 1名←2人の保育士 1級2級(明確の伝統的リズム)をこけ組さん(年長)が10分練習 子どもの権利が難しい 遊べるように自由遊ばせてみる(子どもたちから) 子どもたちは色んな遊びをやりたくて楽しそう!!

ラベルA (白色)

ラベルB (桃色)

10/29 国保実研 07C333 中村 裕美
 自分が実習する保育園を短い時間で紹介する事はとても良かった。それから園のいろいろな所も目撃し、知りたかった。これから園のいろいろな所も目撃し、知りたかった。実習中にできたら、意識してかこうと思う。

10/29 国保実研 07C333 長里 百香
 授業や報告など何気なくおこなったことも実際にしてみると戸惑い、なかなかできないことが分かった。実習中にできたら、意識してかこうと思う。

◆Reflection!
 今日は何かが2月に保育所実習の先の実習先の保育所の紹介をしました。自分が実習に行く保育所の良い所を詳しく話すことは難しく、なかなかみんなに伝わらなくて困りました。みんなが保育所の話を聞いて、一番印象に残ったのは、戸村さんが行く保育所です。本当に子どもが中心だということも分かります。自然がいっぱいあるということに興味を持ちました。また●●●●保育園で働いている伊藤香織保育士の話をきいて、子どもたちは色んな遊びを説明すると言われて、確かにそうだなと思いました。みんなが思いがけないようなことを思いついていたりします。先生からの一言で「実習日誌についてよく考えて、ただ書くだけでなく、自分の思いをしっかりと書いてこそ、ちゃんとした実習日誌になるんだなあ」と思いました。だから、いざ実習をするとなったとき、しっかりと子どもたちを見て、子どもたちと話して、色んなことを感じたいと思います。実習生の心構えの中で「おれ、おん、そう」とあるけど、この3つが「おれおんおん」と思っています。2月には必ず実習でこの「おれおんおん」をしっかりと行って、充実した実習をしてほしいと思います。

次回までの課題 (Homework) ・その他(予定、特記事項)
HW (No.3)
その他

⑨「Homework」については、授業担当の先生より必要に応じて提示される「宿題」です。予習や復習の要素が含まれています。「その他」については、次回授業内容に関する予告や学生同士による連絡や報告を記入します。

指導事例 1 部分実習 午睡前 「絵本の読み聞かせ」

6月22日(木) 11:50~12:00 ひよこ組 (1歳児) 16名 実習生氏名 ○ ○ ○ ○

子どもの姿

- ・園庭で飼っているうさぎや散歩途中で出会う犬や猫などを指さして保育者に知らせたり、一緒に眺めたりして、喜ぶ姿がある。
- ・言葉に関心を持ち、生活の中でオノマトペを楽しむ姿がある。
- ・午睡の前には、保育者に読んでもらう絵本を楽しみにしている。

担当する時間帯の子どもの姿を捉える

ねらい

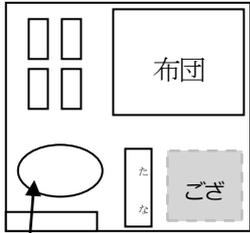
- ・言葉の響きやリズムの楽しさを味わう

ねらいと内容は、子どもの姿から考える

内容

- ・絵本「もけらもけら」を楽しむ

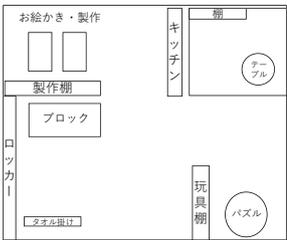
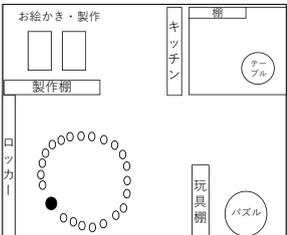
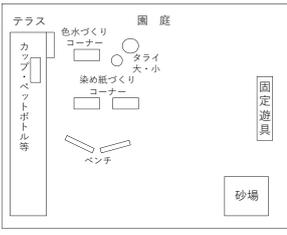
ねらいと内容は、子どもが主語となる文章に!

時間	環境の構成	予想される子どもの活動	保育者(実習生)の援助と配慮
11:50	<p>保育室</p>  <p>着替えスペース</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ごぞの上に座る ・絵本を楽しみにする姿がある。 ・先に着替えを済ませておもちゃで遊んでいた子どもは遊びを続けている。 ○パペットを見て楽しむ ・猫のパペットの登場に喜ぶ。 ・遊んでいた子どもも関心を示し、近くに来て座る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全員の着替えが済んだ頃を見計らって「絵本をみましょうね」と子どもたちに声をかけ、ごぞの上に座るよう誘導する。 ・猫のパペットを使い、子どもたちに話しかける。 ・猫のパペットに親しみが持てるように「ミーちゃん」という名前を付けて子どもたちに紹介する。 ・子どもたちの反応を見ながら、ミーちゃんとのやり取りを楽しめるようにする。 ・ミーちゃんから、「これから楽しい絵本が始まるよ。一緒にみようね」と語りかけ、絵本の読み聞かせを始めるきっかけとする。
12:00	<p>保育室の環境図をかく</p> <ul style="list-style-type: none"> ・猫のパペット、絵本「もけらもけら」を用意しておく。 ・カーテンを閉め、落ち着いた雰囲気の中で絵本を見られるようにする。 ・絵本が見えるように、実習生は子どもの椅子に座り、子どもはごぞの上に座るようにする。子ども全員が絵本を見えているかを確認する。 <p>子どもが絵本に集中できる環境構成のポイントを考えて書く</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○絵本「もけらもけら」を見る ・絵や言葉のおもしろさを感じながら、笑ったり声を出したりする。 ・絵本に出てくる言葉を一緒に繰り返したりして楽しむ。 ・絵をじっくり見たり、指をさしたりして絵を楽しむ。 ・ミーちゃんの再びの登場に喜ぶ。 ・ミーちゃんに「おやすみなさい」と言い、眠る気持ちになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの興味を捉えた導入の工夫をする ・読み聞かせるときに気をつけたいことを書く ・絵本の楽しさを味わえるような援助を考える ・子どもも一緒に言葉を発することを楽しめるように、子どもの声に合わせていくようにする。 ・絵も楽しめるように、絵本をめくるタイミングにも留意する。 ・楽しかった気持ちを受けとめ絵本を終える。 ・ミーちゃんからも「楽しかったね」と語りかけて絵本をしまい、「そろそろ眠くなったね、おやすみなさい」と午睡に入れるようにする。

楽しい気持ちで終わるとともに、次の生活の流れも意識した援助を考える

指導案例2 全日実習

子どもの生活、遊び、友だちとの関わりの姿を捉える

9月10日(木) 8:45~16:00 ひまわり組 (4歳児) 22名 実習生氏名 ○ ○ ○ ○			
時間	環境の構成	予想される子どもの活動	保育者(実習生)の援助と配慮
<p>子どもの姿</p> <ul style="list-style-type: none"> 見通しを持って生活し、身の回りのことを自信を持って行っている。当番活動が始まり、自分の役割を喜んで果たしている。 園庭では体を動かしたり、水や土、砂などに関わったりして遊ぶ姿がよくみられる。水と土や砂を混ぜて、その変化や感触を楽しんだりしている。 友だちと誘い合い、おかあさんごっこやレストランごっこなど、役になりきってごっこ遊びを楽しむ姿がある。 <p>ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ねらいは子どもに育ってほしいと願うこと 色が変化する不思議さや楽しさを味わう 思いがけずにできる模様の美しさや面白さを楽しむ <p>内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 色水遊びを楽しむ 染め紙をして遊ぶ <p>子どもの興味・関心、発達、季節を考慮し、子ども理解に基づいたねらいと内容にする</p> <p>内容は、ねらいを達成するために子どもが経験すること</p>			
8:45	<p>保育室</p>  <ul style="list-style-type: none"> 登園後、子どもたちが遊びだせるよう上記のように遊びの環境を用意する。 <p><保育室></p>	<ul style="list-style-type: none"> ○順次登園 ・保育者や実習生に、挨拶をしたり、家での出来事を話したりする。 ・タオルかけにタオルをかけ、カバンをロッカーにしまう。 ○保育室で好きな遊ぶ ・ブロックやパズル、絵本、お絵かきなどをして遊ぶ。 ・ままごとコーナーでは、お母さんごっこやレストランごっこを友だちと楽しむ。 ○片付け・排泄・手洗い ・遊んでいるものを片付ける。 ・トイレに行き、手洗いをする。 ・実習生を手伝い、椅子を並べる子どももいる。 ・椅子に座る。 ○朝の集まり ・手遊び「ちゃちゃつぼ」を楽しむ。最後までできた達成感を味わったり、できなくても「もう1回やりたい」と言ったりする。 ・実習生の朝の挨拶に応え、「おはようございます」と挨拶する。 ・名前を呼ばれたら返事をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども一人ひとりに笑顔で優しく「おはよう」と声をかけ、朝の受け入れをする。 ・子どもの顔色や表情、動きなどをよく観察し、心身の健康状態を確認する。 ・朝の身支度の様子を見守る。 ・子ども一人ひとり楽しく遊んでいるか見守りながら、必要に応じて遊びに誘う。 ・子どもたちの中に入り、一緒に遊びを楽しむ。 子どもの主体性を大切にした援助を考える ・片付けの時間であることを知らせる。 ・子どもたち自身で片付ける姿を大切にしながら見守る。 ・トイレに行くように声をかける。 ・排泄・手洗いの様子を見守り、椅子を並べる。 ・子どもたちが集まったら、手遊びを始める。子どもたちの動きに合わせゆっくりとすすめて、難しい手遊びにチャレンジする楽しさを味わえるようにする。
9:30	 <ul style="list-style-type: none"> 子ども同士で顔が見合えるよう椅子をサークル状に並べる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・靴を履いて園庭に出る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・気持ちよく一日が始まるよう笑顔で子どもたちに朝の挨拶をする。 ・子どもの名前を呼ぶ。子ども一人ひとりと目を合わせ子どもの返事を受けとめる。
9:45	<p>いつもどのような朝の集まりをしているか、よく観察し日誌に記録しておく。日誌を参考に指導案を書く</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○色水遊び・染め紙遊び ・ベンチに座る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「これから園庭であそびましょう」「楽しいものをもってきましたよ」と期待が持てるように誘う。 ・園庭のベンチに座るよう声をかける。
10:00	<p><テラス・園庭></p> 		

クラスの一日の生活の流れを参考にし、ゆとりを持った時間配分を考える

活動・遊びの場をどのように設定するか、テーブルや椅子、物の配置を環境図にする

表 35-1 頑張ったことと課題として残ったことのリスト（記入例）

		頑張ったこと	課題として残ったこと
実習Ⅰで見つけたもの	態度	①子どもたちだけでなく、先生や保護者の方にも挨拶がよくできたと思う。担当の先生にほめられて、より積極的になれた。 ②子どもの造形活動についてはとても興味があるので、さまざまな準備をしてのぞむことができ、先生方が初めて見たという活動を提供することができた。 ③先生方や他の実習生とのチーム保育では、しっかりいろいろと話し合っ、同じ考えを共有して進めることができた。 …	①自分から動いていいかわからないときに、つい動かないままですませていたので、気をつけたい。 ②もう少し責任感を持って保育にあたるよう指導を受けたが、具体的にどうしていいかわからない。 ③質問をするよう指導を受けたが、何を質問していいかわからなかった。 … …
	知識・技能	①デイリープログラムを事前に頭に入れていたために、一日の流れを理解してスムーズに次の活動に移ることができた。 ②子どもの造形活動のときは、子どもの様子をよく見ながら、特に苦手意識を持っていた子どもが気持ちよく製作を進めることができるように、いい言葉かけができたと思う。 ③SIDSについて実習前にしっかり勉強していたので、実際にやってみたことで理解が深まったと思う。 …	①保育所が制度的にどういう施設かと聞かれたときに、ちゃんと答えることができなかった。 ②子どもの発達にふさわしくない遊びを計画してしまっ、楽しい活動にできなかった。子どもの発達の具体的な姿について、まだまだ勉強しないといけない。 ③笑顔で子どもに語りかけるのが少し硬くなってしまった。 ④保育中に失敗してしまうと、焦ってしまってその次の活動まで、できるはずのこともちゃんとできなかった。 …
実習Ⅱで見つけたもの	態度	①造形以外の分野でも探究心を持つよう心がけて、先生方にたくさん質問して多くのことを知ることができた。 ②保護者の方に礼儀正しく、でも少しうちとけて話をするできるようになり、いい先生になってくださいと励まされた。 …	①先生方から指導をいただく前に、自分で考えて提案するなど、もう少し積極的にいろいろなことを試してみることが必要だ。 ②少し慣れてきて、先生にも促されて職員会で意見を言ったが、反対したいときの言葉遣いが難しく、また理由もちゃんと説明できなかった。 …
	知識・技能	①記録が実習Ⅰに比べて、簡潔に、でもたくさんとることができるようになって、指導計画に生かすことが少し理解できた。 ②地域の方との活動の際に、高齢者の方とたくさん話すことができ楽しく進めることができた。 …	①日々の具体的な実践の中で子どもの最善の利益を保障するということがよくわからなかった。 ②指導計画の際に、物品の数や置き場所など具体的な準備をきちんと考えていなくて、実際の活動のときに子どもが混乱してしまっ、はさみの取り合いでけんかが始まったりした。安全の面も含めて、頭の中でシミュレーションすればよかった。 ③園にある子育て支援センターと、園の通常保育との関係がよくわからなかった。 …

主な関連授業

・保育原理、教育原理、保育者論、保育内容の理解と方法、保育の計画と評価、保育実習指導Ⅱ、保育実践演習など

ワーク

・表 35-1 のリストを作成しましょう。

・実習での自分の気持ちの動きや印象に残ったエピソードとそこで感じたことなどを文章にしましょう。

表 34-1 保育所実習Ⅱの評価票の評価項目

項目	評価の内容	評価上の観点	評価 (該当するものを □にチェック)			
			A	B	C	D
態度	意欲・積極性	・指導担当者からの指示を待つばかりでなく、自分から行動している。 ・積極的に子どもと関わろうとしている。 など	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	責任感	・十分な時間的余裕を持って勤務開始できるようにしている。 ・報告・連絡・相談を必要に応じて適切に行っている。 など	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	探究心	・日々の取り組みの中で、適切な援助の方法を理解しようとしている。 ・日々の取り組みの中で、自己課題を持って実習に臨んでいる。 など	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	協調性	・自分勝手な判断に陥らないように努めている。 ・判断に迷うときには、指導担当者に助言を求めている。 など	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
知識・技術	保育所等の役割と機能の具体的な展開	・養護と教育が一体となって行われる実際の保育について理解できている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		・保育所等の社会的役割と責任について具体的実践を通した理解ができている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	観察に基づく保育の理解	・実際の子どもの関わりを通して子どもの心身の状態や活動に対する観察ができている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		・保育士の援助や関わりに対する観察ができている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		・実際の保育所等の生活の流れや展開について把握できている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	子どもの保育および保護者・家庭への支援と地域社会との連携	・環境を通して行う保育、生活や遊びを通して総合的に行う保育について理解できている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		・保護者支援および地域の子育て家庭への支援の実態について理解できている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		・関係機関との連携の実際について理解できている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		・地域社会との連携の実際について理解できている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	指導計画の作成、実践、観察、記録、評価	・全体的な計画に基づく指導計画の作成・実践・省察・評価と実際の保育の過程の展開について理解できている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
・作成した指導計画に基づく保育実践の評価ができている。		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
保育士の業務と職業倫理	・多様な保育の展開と保育士の業務内容の関連性について理解できている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	・保育士の職業倫理について具体的な実践に結びつけて理解できている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
自己課題の明確化	・保育士を目指す者としての自己の課題を明確にすることができている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

A：実習生として非常に優れている B：実習生として優れている C：実習生として適切である
D：実習生として努力を要する

主な関連授業

- ・保育原理、教育原理、保育者論、子どもの理解と援助、保育内容、保育内容の理解と方法、保育の計画と評価、保育実習指導Ⅱ、保育実践演習など

ワーク

- ・評価票を見て自分の強みと課題をリストアップしましょう。
- ・リストの内容を、小グループで紹介し合ひましょう。
- ・それぞれのリストについて順に意見交換しましょう。その際、本人が気づいていない強みを見つけ合ひましょう。

Homework Sheet Lesson 17 (Sample)

科目名：	受講日：	年	月	日 ()
	提出日：	年	月	日 ()
クラス：	学生番号：	氏名：		

課題1：室内での遊びの環境を考えてみましょう。保育室の中に「コーナー遊び」と「保育者の位置」を書き入れてみましょう。

- ・子どもたちが興味を持ちそうな遊びを最低4種類は考えましょう。
- ・遊び場所の配置により、遊び同士の影響や関連なども考えましょう。
- ・子どもたちの動きやすさや安全を配慮した動線が確保できるようにコーナーを配置しましょう。
- ・保育者が全体を見渡せたり、すぐに動けたりする位置を確保しましょう。

課題2：理想の園庭を考えてみましょう。どのような遊びができるのか想像しながら、自然物も人工物も自由に組み合わせて園環境を設定してください。完成した園庭について、周りの方にプレゼンして意見をもらい改善してみましょう。

